

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三崎 英和	評価責任者(部長)	弘中 基之
事務事業コード	812011	事務事業名	動物園管理運営事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII2 観光でまちの魅力が高まる	実施計画	×
	基本施策	VII21 観光の振興	基本方向	徳山動物園を核に交流人口の拡大を図るとともに、市民や地域、関係団体等と一体となって地域の魅力を生かした交流を促進することにより「住んでよし、訪れてよしのまち周南」の実現を目指します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(5) 動物を身近に感じるソフト事業の展開			【 観光の振興 】	19.40%
	推進施策の展開	動物園学習支援ボランティア「周南ふれんZOO」と連携し、園内ガイドを実施するなど動物に対する知識を高める取り組みを展開します。			25年度市民評価の満足度	
					【 観光の振興 】	22.00%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 徳山動物園	意図(どういう状態にしたい): 周南市最大の情報発信・交流拠点として、動物園に年間30万人を超える来園者を迎える体制を確保することで、その役割を果たすことができる。	事業の内容(手段)	○予算管理執行、臨時職員の雇用 ○入園券の発券や駐車場の整理等の運営業務 ○施設の維持や保守点検等の管理業務 ○事業を告知するための広告宣伝業務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成25年度は、9月に2頭のスリランカゾウを導入したことや関連するイベントの実施等による効果により、入園者が30万人を超えたものの、平成26年度はゾウ効果が一段落したことや、天候の影響等により前年に比べ減少となった。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	70,767	98,990	77,030		79,783	77,000						
事業目標	目標名	入園者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	40,316	51,425	45,354	47,816	45,300
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	74,592	93,372			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	360,000.0	370,000.0	380,000.0	330,000.0	330,000.0	(決算額)	うち一財	千円	40,769	44,126		北園リニューアルオープンに伴う、光熱水費の増額	
	実績値	278,044.0	320,364.0	288,320.0			正職員人件費	千円	16,335	22,998				
	達成度(%)	77.2%	86.6%	75.9%			人工数	人	2.23	3.11	2.58			
							支出コスト	千円	決) 90,927	決見) 116,370				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	施設運営業務 (経常的事務事業)	予算管理、臨時職員雇用、駐車場整理	観光交流施設として来園者の増加を図る。	同左のとおり	予算管理執行、臨時職員の雇用、駐車場整理等、スムーズな施設管理運営を図った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							1.88	0.1	78,568	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○施設運営に係る適切な入園料等の確保。 ○駐車場が点在しており、繁忙期の駐車場対策は、アルバイトの確保を含めて大変である。					B	改善案	○リニューアル後には、入園料の改定が必要であり、駐車料金等についても検討が必要。 ○指定管理制度の導入は検討の余地はあるが、一般的な管理業務と動物の飼育や学習業務とは分けて考える必要がある。					
②	窓口入園券発券業務 (経常的事務事業)	入園券発券	入園者の把握と動物園の顔として、来園者に快適に過ごしていただくための対応をする。	来園者に快適に過ごしていただくための対応をする。	入園券の発行、園内案内、観光情報等の提供、繁忙期にはコンシェルジュ対応など、サービス面の向上もあったが、入園者減となった。	0.26	3.5	6,345	否	可				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○雨天時や閑散期は来園者が少ないため、窓口職員の配置に工夫が必要。					B	改善案	○リニューアル後、券売機の導入や窓口業務の委託など、コスト面での検討の余地がある。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	正職員	臨時等					直接事業費	委託	臨時			
事業を構成する細事業【26年度実績】	③	環境整備事業 (施設管理運営事業)	園内整備業務	園内環境(樹木等)の整備を行い、来園者に快適に過ごしていただく。	観光交流施設としての役割を持っており、快適で安全な施設の維持管理が必要。	園内樹木選定や堆肥搬出等で園内環境の整備を図り、危険箇所への対応も素早くできた。	0.31	2.0	4,230	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							A	改善				
	④	各種契約業務 (経常的事務事業)	業務委託、飼料購入等契約	施設管理や動物用飼料の安定供給を目的とする。	安全で快適な環境の維持管理及び低コストで安心安全な飼料を安定的に確保する。	施設管理業務委託、動物用飼料購入契約等の契約を予定どおり締結した。	0.33	0	67	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 動物用飼料については、価格変動等など契約期間短縮による契約事務量の増加が多少ある。					細事業評価					
							A	改善				
⑤	入園者増加対策事業 (ソフト事業)	情報発信事務	動物園全体として、魅力ある取り組みを広報する。	来園者数の増加を図る。	24年度に新たに開始した「テレビCM放映」や「サービスアップ24事業」の効果も一段落し、入園者数が前年度より減少した。	0.33	0	4,162	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ○魅力あるイベントの開催や効率的な情報発信が必要であるが、人員不足。 ○動物園サポーター制度、協力店制度、半額割引協定等への更なる取組と周知。 ○売店等の顧客満足度が低い。					細事業評価						
						B	改善案		○テレビCMの効果的な放映について、さらなる検討が必要。 ○来園者のニーズにあった売店等での物品販売やサービスの向上が課題。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
事業開始からの環境変化	本格的な動物園として昭和35年に開園し、市内外から多くの来園者があり順調に推移してきたが、施設の老朽化やレジャーの多様化により、来園者も減少傾向にあった。しかし、平成17年から、魅力拡大に向けた取り組みを始めたため増加傾向となり、平成21年度入園者数は、34万2千人になったが、22年度からの遊園地設置事業者の撤退、気候等の状況で入園者が減少傾向であった。平成25年9月にスリランカゾウ2頭を導入し、入園者数は大きく伸びた。今後は、動物園のリニューアル事業に伴い、完成した施設から順次オープンしていく。	動物園サポーター制度、他市の施設との半額割引協定等、改善の取組みが行われているが、入園者は21年度以降減少している。27年度の目標である33万人を達成するため、特定の人気動物に頼らない、動物園全体として魅力ある取組みが必要である。入園料の改定や外部委託についても検討すべきである。	24年4月から「サービスアップ24事業」として、「メール配信サービス」、「ウェルカムサイン設置事業」、「コンシェルジュ設置事業」を開始し、情報発信及び来園者へのサービスアップに努めた。入園料改定については、リニューアルに併せて検討予定。
細事業の課題・問題点	○情報発信等やお客様のニーズにあったサービスの向上が必要。	事業全体の課題・問題点	ゾウ導入効果により入園者数、入園料収入とも大きく伸びたが、それまでは天候不順や遊園地施設の撤退等で入園者数が伸び悩んでおり、新たな入園者増加対策の取組みが必要であった。施設が老朽化しているが、H25年度より着手のリニューアルで、魅力ある施設の完成が望まれる。リニューアル後には、入園料改定の検討が必要。動物の高齢化等による死亡に伴う導入が必要となっている。

所管課評価							
評価	B	A B C D	計画どおりに事業を進める 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 事業統合や外部委託等による大幅な見直し 休止・廃止の検討	評価理由	動物園を運営していく上で必要不可欠な事業であるため。	改善案	改善すべきは事項はいろいろあるが、リニューアル事業を実施しているところであり、タイミングを見計らって上記内容について検討していきたい。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
市内最大の交流施設であり、コンベンションシティーを推進していくためには欠かせないものである。施設も古く、さまざまなことを改善していく必要はあるがリニューアル事業の進捗状況に併せて、適時対応していくことが必要であろう。	

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	701003
分野	産業・観光
基本施策	観光・コンベンション等による交流の推進
推進施策	魅力ある動物園の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
北園リニューアル施設のオープンに伴い、入園者数の大幅な増加が見込まれる。本来であれば、窓口や駐車場の臨時職員を増員して対応するところであるが、新規導入した券売機や徳山駅前から移設した電光掲示板を活用し、効率的な運用をおこなうことで前年度並みの労務賃金で対応する。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三崎 英和	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	812014	事務事業名	動物園教育普及事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅶ 産業・観光	節(まちの姿)	Ⅶ2 観光でまちの魅力が高まる	実施計画	×
	基本施策	Ⅶ21 観光の振興	基本方向	徳山動物園を核に交流人口の拡大を図るとともに、市民や地域、関係団体等と一体となって地域の魅力を生かした交流を促進することにより「住んでよし、訪れてよしのまち周南」の実現を目指します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(5) 動物を身近に感じるソフト事業の展開			【 観光の振興 】	19.40%
	推進施策の展開	エサやりや小動物たちとのふれあいを柱とした体験型サービスの提供を充実します。動物園学習支援ボランティア「周南ふれんZOO」と連携し、園内ガイドを実施するなど動物に対する知識を高める取り組みを展開します。			25年度市民評価の満足度	
		【 観光の振興 】	22.00%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 「周南市を含む近隣住民」特に徳山動物園に入園した方、又は、動物園の情報を得た方	意図(どういう状態にしたい): 事業の取り組みを広く周知することでさらなる利用者の拡大につなげ、「いのち」や「自然環境」をテーマにした学びの時間を作ることができる。	事業の内容 (手段)	○動物をテーマとした様々な「環境教育プログラム」や「情操教育プログラム」の実施(学校と連携して実施するものを含む)。 ○将来を担う子供たちを育み、また大人の入園者も楽しめるような学習の機会を提供 ○教育的資料の作成(標本の作製、解説パネル等の作成など)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	コンクール(春・夏の動物画)参加者1,605人 動物園学習支援ボランティア活動回数 308回 歳時的イベント 14回 団体向け体験プログラム(ちよこつとアニマル)参加者 93回4,263人 ミニZOO 17か所 派遣 新聞連載41回					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	992	912	912		900	912						
事業目標	目標名	教育イベントの延べ参加者数等	計算式	参加者数等	人	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	915	751	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	14,000.0	15,000.0	15,000.0			(決算額) うち一財	千円	0	0				
	実績値	14,934.0	15,065.0	15,447.0			正職員人件費	千円	21,389	26,030				
	達成度(%)	106.7%	100.4%	103.0%			人工数	人	2.92	3.52	3.81			
							支出コスト	千円	決) 22,304	決見) 26,781				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト		委託等の可否			
	①	各種コンクールの実施 (ソフト事業)	入園者のうち、コンクール参加者	動物をじっくり観察する機会を提供し動物への興味を喚起する。	参加者1,800人	動物画(春153人夏1,452人) 合計1,605人		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
						0.3	0	45	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 夏の動物画コンクールは夏休みの宿題にもなるので参加者が多いが、春については年々減少傾向となっている。					B	改善案	春の動物画コンクールについては、情宣に力を入れるとともに、レギュレーションの変更を行う等、気軽に参加できるようにする。					
	②	動物園ボランティアの調整 (ソフト事業)	動物園内でボランティア活動を行いたい人	動物園内での活発なボランティア活動の推進によって、より魅力的な動物園サービスの実現	述べ活動回数450回	活動回数308回		0.22	0	50	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 周南ふれんZOOによる活動は、安定してきている。しかし、登録者数の減少と新メンバーが定着しにくいこと、実働メンバーが少ないことが課題であり、効果的なフォローが必要になっている。					B	改善案	新規の活動希望者については、職員とボランティアスタッフが共同してフォローできないか調整していくことが必要と思われる。学習支援ボランティア以外のボランティア活動の受け入れについても検討。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	③	歳時的イベント実施 (ソフト事業)	市民	季節ごとに動物園の話題がニュースなどで市民の皆様に届くこと	通年で12回(毎月)の実施	合計14回実施	1.24	0.05	128	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ニュースソースとして価値を高めるために、市長やボランティア、園児などに出席していただくことが多く、都合に左右される。単なるニュースソースに終わっているものもある。				B	改善	ニュースを見た方も参加できるような内容にするなどして、多くの方に足を運んでもらえるように改善する。			
	④	学習体験関連事業 (ソフト事業)	青少年、児童生徒	いのちの学習や職業観の醸成の機会の創出	年間述べ受入人数 60人	職場体験、インターンシップ、学芸員実習など述べ102人受け入れ	0.47	0	238	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 実習生の受け入れは、現場にとって負担が大きい。動物園の都合により、受け入れを断る場合や、受け入れ人数を制限することもある。				B	改善	低負担で多くの生徒を受け入れられるような安全度の高い実習の方法を検討する必要がある。			
	⑤	展示解説・資料解説などの学芸業務 (ソフト事業)	展示物・標本資料	標本を学習に供する状態に保つこと、標本を解説し展示効果を高めること	標本作成 10個 貸出回数10回	標本作成 2個、貸出回数14回	0.64	0	6	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 一部、貸出した標本について修理が必要。				A	改善	貸出しの際、丁寧に扱うよう要請する。また、新たな標本をつくっていく。			
	⑥	動物体験プログラム (ソフト事業)	市民	市内コミュニティや団体入園者へ、予約制で動物との体験を提供し、学習の機会とする。	100回5,000人	園内でのちよこつとアニマル(エサやり体験など)93回 4,263人 ミニZOO 17回派遣	0.65	0	284	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 春と、秋の繁忙期に団体向けの体験が集中し、現場の業務増となっている。現時点で希望に添えない団体もある。				B	改善	理想的には希望する団体すべてが体験できるようにしたい。実施メニュー等を検討していきたい。(省力化、派遣先側の体制強化)			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	子ども達を中心に、生き物と接する機会が今後も減少していくと思われる。そのような社会変化の中、いのちや自然へ対する概念が未発達であることは社会的にも問題視されており、動物園での命と接する機会は、今後も重要になっていくと思われる。また、ボランティアによる学習支援活動は軌道にのって安定してきたが、新規参加者がやや不足している。	前年度までの指摘事項	限られた財源の中、オリジナリティーのある学習プログラムの実施に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	ちよこつとアニマル（動物へエサを与える体験や、エサやりの様子を観察していただくプログラム）を団体向けに行っており、動物との距離が近い周南市徳山動物園の特性を活かしたものと見える。
	細事業の課題・問題点	○学習体験や動物体験プログラムの実施においては、特定の時期に集中することがあり、他の業務との兼ね合いから、すべてのニーズに対応できていない状態である。この状態を改善するためには人手の問題が大きい。 ○春の絵画コンクール等は、事前に十分な周知が必要と思われる。 ○ボランティアの活動については、新しい分野に拡大できないか検討し活動の活性化を期待する。	事業全体の課題・問題点	ちよこつとアニマル（体験プログラム）の実施については、同じような時間帯に希望の大半が集中する業務のため、対応可能な最大量が制限されてしまう。量的にこれ以上のサービス向上はかなり困難といえるため、質、手法の検討を行い、入園者のニーズに対応していく必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	博物館相当施設として認定を受けている施設であるとともに、学校等からも多くの要望がある。	改善案	上記のとおり検討する余地がある。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 国内の様々な動物園をみても分かるとおおり、ただのレクリエーション施設としての動物園の運営は既に終わっている。これからさらに、この機能を充実していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	701003
分野	産業・観光
基本施策	観光・コンベンション等による交流の推進
推進施策	魅力ある動物園の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
需用費(消耗品費)の減額

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三崎 英和	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	812017	事務事業名	動物園飼育事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII2 観光でまちの魅力が高まる	実施計画	×
	基本施策	VII21 観光の振興	基本方向	徳山動物園を核に交流人口の拡大を図るとともに、市民や地域、関係団体等と一体となって地域の魅力を生かした交流を促進することにより「住んでよし、訪れてよしのまち周南」の実現を目指します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(5) 動物を身近に感じるソフト事業の展開			【 観光の振興 】	19.40%
	推進施策の展開	展示動物の飼育管理、動物舎の清掃、衛生管理、診察・治療と展示動物などに関する調査・研究、さらに飼育動物の調教やより新しい飼育展示への対応や、繁殖推進種の繁殖への取り組み。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 徳山動物園の飼育動物	意図(どういう状態にしたい): 健康に飼育動物を飼育管理し、希少な動物の繁殖に取り組むことで、動物園のもっとも基本である動物の飼育展示を継続して行う。	事業の内容 (手段)	○展示動物の飼育管理、衛生管理、診察・治療 ○展示動物などに関する調査研究 ○飼育施設の維持管理 ○飼料の確保、調達	【 観光の振興 】	22.00%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	128種491点(H27年3月末)の動物を飼育。繁殖推進種25種のうち、7種の繁殖に成功。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	27,995	32,040	32,229	33,846	32,229	
事業目標	目標名	繁殖推進種繁殖率	計算式	繁殖推進種繁殖種数/繁殖推進種数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	26,259	29,277	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	(決算額)	うち一財	千円	0	0	飼料単価の高騰に伴う飼料費の増額			
	実績値	33.0	30.0	28.0			正職員人件費	千円	68,855	64,706					
	達成度(%)	113.8%	103.4%	96.6%			人工数	人	9.40	8.75	10.05				
							支出コスト	千円	決) 95,114	決見) 93,983					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	飼育管理業務 (施設管理運営事業)	飼育動物	飼育動物を健康的に飼育管理すること	繁殖推進種での繁殖種数割合を3割以上	繁殖推進種25種のうち、7種で繁殖	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
	繁殖を目指すべき種であっても、繁殖可能なペアがそろっていないケースや、一定期間繁殖が成功していないペアのケースでは、新規に個体を導入するなどによって、繁殖を進める必要がある。また、ゾウの導入にともないその成長に応じた新獣舎の整備が求められる。						A	改善案	繁殖実現のための調査研究の取り組みを向上させる。ゾウ舎を含めた飼育動物舎の将来計画を策定する。						
②	飼料準備に関する業務 (施設管理運営事業)	飼料搬入元	動物飼料の安定確保	予算内で必要な飼料を確保する	安全な飼料を安定的に確保ができた。	0.5	0.3	21,681	否	否					
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
市内の野菜の小規模小売店が少なくなり、従来までの動物園に納品する方法では、入札参加業者がほとんどなくなり、入札不調の結果として飼料価格が高騰するようになった。						A	改善案	生産地から直接、規格外品などを購入したり、地元の農家と協議し、栽培委託するなど飼料確保の方法において新しい取り組みの導入が必要と思われる。							

事業の分類	細事業名	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
③	動物舎の施設維持管轄 (施設管理運営事業)	動物飼育舎	動物の脱出防止、事故防止、園内景観維持	必要が生じ次第対応	動物舎の危険な箇所があった場合には、速やかに修繕対応した。	0.6	0.16	87	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設全体で老朽化が進んでいるが、リニューアル工事を視野に入れながら、必要最小限の工事を行っていく。			A	改善案	リニューアル工事までできるだけ経費をかけずに維持していく。			
④	飼育に関する調査研究		飼育技術のスキルアップによる飼育レベルの向上	随時	日動水開催の研修会への参加や他園館との情報交換等により、飼育技術の向上に努めた。	0.48	0.06	462	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ゾウは、動物愛護団体をはじめとし、様々な視点で注目されており、学術的な観点からの取り組みも重要である。その他の動物園との連携の場である各種専門会議に出席したり、外部(特に大学)との共同研究の取り組みをおこなったりする必要が高くなっているが、予算の関係上一部のみの参加となっている。			A	改善案	全国的な研究会などについては、概ね出席し、知見を深め、連協を強化する必要がある。また文献検索の体制をつくる。			
⑤	動物移動、飼育許可の調整などの業務 (施設管理運営事業)	関係官庁、他の動物園	展示動物の確保と展示の維持	必要に応じ実施する業務	動物移動、飼育許可については、他園館や関係官庁等と情報交換し、随時適切に対応した。	0.12	0	43	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他			A	改善案				
⑥	獣医診療業務 (ソフト事業)	主に飼育動物	動物の健康の維持、病気の予防、治療	必要に応じ実施する業務	動物の病気予防に努めるとともに、治療が必要な場合は、適切に治療対応した。	0.27	0	499	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他			A	改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	動物園を運営していく中で不可欠な事業である。	指摘事項に対する改善状況	動物の導入のハードルが高くなる中で、飼育繁殖についての研究や情報交換を行うべく、必要な会議には欠かさず出席し、対外的な信頼を構築していく必要がある。
課題・問題等	動物園の維持管理のためには不可欠な業務である。ゾウなどの希少動物は、適正に飼育されているか、社会的にも注目されている。スリランカゾウの適正飼育のため、現場はチームによる飼育担当制を導入している。なかでも安全と健康管理のために、朝夕のゾウのトレーニングを実施しており、動物園全体の飼育作業体制の見直しを行っている。				
	希少な飼育種の確保においては、常に他園と連携できる体制を確保する必要があるが、専門的な会合のうち一部にしか参加できていない現状がある。専門的・学術的なことについて、調査研究できるような文献検索の体制などが必要。飼料の調達については、小売り業種の社会的変化の中、入札が不調になることが多く、安価で安定した飼料確保が困難になってきている。		事業全体の課題・問題点	リニューアルや入園者サービスの増加の状況の中で、業務を行う時間的な余裕が不足してきている。業務量の増加の為、入園者サービスの量が減少し、慢性的に労務が不足している。希少動物の適正な飼育の実現のために、専門書や文献検索の利用体制が必要である。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	技術レベルの向上に取り組みつつ、希少な野生動物の飼育を責任を持って行うものであり、動物園運営には不可欠であるため。	改善案	地方の小動物園というだけでなく、飼育技術の向上について積極的に取り組む姿勢を持ち合わせるような体制をつくる（研究会などへの出席、専門情報の収集）

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
	市民が誇りに思える動物園であるためには、やはり魅力ある動物の飼育は欠かせない。今後ますます、希少動物の導入が困難になってくるが、飼育員の技術を向上させ国内の動物園のためにも寄与したい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード*	701003
分野	産業・観光
基本施策	観光・コンベンション等による交流の推進
推進施策	魅力ある動物園の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成28年度より、獣舎のある南園もリニューアル工事に着手することに伴い、新たな動物の搬入を制限することで、運搬料及び庁用器具費（輸送用ゲージ）を減額する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三崎 英和	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	812032	事務事業名	動物園魅力拡大「ズー夢アップ21」実施事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII2 観光でまちの魅力が高まる	実施計画	×
	基本施策	VII21 観光の振興	基本方向	徳山動物園を核に交流人口の拡大を図るとともに、市民や地域、関係団体等と一体となって地域の魅力を生かした交流を促進することにより「住んでよし、訪れてよしのまち周南」の実現を目指します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(5) 動物を身近に感じるソフト事業の展開			【 観光の振興 】	19.40%
	推進施策の展開	エサやりや小動物たちとのふれあいを柱とした体験型サービスの提供を充実します。			25年度市民評価の満足度	
					【 観光の振興 】	22.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 「周南市を含む近隣住民」 特に徳山動物園 に入園した方、又は、動物園の情報を得た方		意図(どういう状態にしたい): 魅力的なソフト事業の展開による顧客満足の向上、それに伴った入園者数の増加や歳入の確保する。		事業の内容 (手段)	○日曜・祝日の動物ふれあいプログラムの実施(ばくばくタイム、フライトショー、どうぶつふれあいの森) ○27年度末閉園予定の「ふれあい舎」で実施予定の体験プログラムの準備 ○投げエサ販売の実施による入園者と動物との関わり作り ○徳山動物園の飼育動物を身近に感じてもらえるような情報発信

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	ズーわくわくサンデー 参加者 11198人 どうぶつの森 ふれあいコーナー 53469人 投げエサ述べ体験者 47876人 ホームページ、ブログ閲覧者 163081人 Facebook 述べべりーチ件数 364,430回 ツヨシのゴーゴー動物園 youtube 再生回数 28157回、ぞくぞく動物キモだめし32655人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	6,802	7,452	8,302		14,129	16,000					
事業目標	目標名	各体験などの利用者数	計算式	各々のサービス体験者合計	単位	人	(予算額) うち一財	千円	0	0	0		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	6,555	6,749		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	270,000.0	300,000.0	300,000.0	300,000.0	300,000.0	(決算額) うち一財	千円	0	0		賃金、消耗品(体験プログラム等)、ICT-ZOOランニングコスト	同左
	実績値	391,840.0	459,020.0	724,097.0			正職員人件費	千円	23,001	24,699			
	達成度(%)	145.1%	153.0%	241.4%			人工数	人	3.14	3.34			
							支出コスト	千円	決) 29,556	決見) 31,448			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト		委託等の可否		
	①	ズーわくわくサンデー (ソフト事業)	入園者	さまざまな動物体験を実施して体験する動物園を楽しんでもらい、顧客満足度の向上を目指す。	体験者数として入園者の2割程度(60000人)	ばくばくタイム、ふれあいコーナー 体験者総数 63599人		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
						0.99	0.15	1,194		否	否		
	細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 H25年度途中から、公式Facebookを開始し、多くの方々に閲覧していただいた。					B	改善案	ゾウの調教やトリートメントなどの機会を入園者に紹介する時間を取るなどして、新しいばくばくタイムのメニューの開発を行う。				
	②	動物情報の発信(マスコミ)など (ソフト事業)	マスコミなど	動物園に関する情報を詳しくマスコミに提供し報道してもらう。	情報提供などの回数(年間100回程度の取材につながる規模)	マスコミ取材対応66回 動物園だより投げ込み 28回	0.81	0.2	200		否	否	
細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他					A	改善案						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事業業務目的	事業業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成する細事業【26年度実績】	③	投げエサの販売 (ソフト事業)	入園者	投げエサを販売することでエサやりの体験を提供し、動物園をより楽しんでもらう。	体験者数として入園者の2割程度(60000人)	投げエサ販売個数 47876個 (1個100円として)	0.07	0.6	5,105	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 リニューアル工事の影響で、エサやりができる場所が減っているため、特定の動物に集中して投げエサを与えることになるため、新たな動物種の検討などが必要				B	改善案	エサを与えられる動物種を増やして、投げエサの分散を行う。				
	④	ホームページの維持管理 (ソフト事業)	ホームページ閲覧者	動物園情報の発信	SNSを利用したプッシュ型の情報提供の充実	ホームページ、ブログ、Facebook 閲覧者、527511人	0.43	0.1	50	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 Facebookの活用で飼育動物のリアルタイムな情報提供につながった一方、イベントなどの周知については、十分な反応があったか、効果の有無については不明な状態である。				B	改善案	イベント情報について、Facebookでの反応を集計調査する。				
	⑤	無料開園・夜間開園など (ソフト事業)	該当期間入園者	より付加価値をつけた開園形態で入園者の増加を図ること	夜間・無料開園日入園者数 (年間入園者数の10%)	夜間入園者 10651人 無料開園日入園者 12580人	1.04	0	200	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 天候に左右され、特に夜桜開園は日程設定が難しい。				B	改善案	夜桜開園などは、近隣地域の桜まつりなどとの連携などうまくできればさらに効果が増すのではないかと。				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	多くの体験プログラムを実施したり、動物やイベントの情報を発信することで、来園者と動物の距離感を縮めることができているが、ゾウなどの新規導入動物の対応やリニューアル作業対応などで、実施プログラム数を減らした。	前年度までの指摘事項	エサやり体験、動物ふれあい体験など魅力的な取り組みが行われている。また、ホームページやyoutubeなどへの発信も積極的である。今後も魅力向上の取り組みをされたい。	指摘事項に対する改善状況	今後も取り組んでいく。
	細事業の課題・問題点	日常の管理業務など、優先される業務が多忙になると、実施規模が減少してしまう状況にある。Facebookなどの情報発信については、受け手によっては誤解を招くこともあるため、注意深く行っていきたい。	事業全体の課題・問題点	Facebookのコメントなども概ね好意的なものも多く順調な事業の進捗と考えている。ばくばくタイムの実施回数を増やしていけるように取り組んでいきたい。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	動物と触れ合うことなど、今どこの動物園でも実施しており、こういったサービスがあって当然のように感じている。	改善案	上記のとおり、改善の余地は様々あるが、リニューアルと合わせて検討していくことも必要と思われる。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 世界中の動物園が、ただ見るだけの動物園から、触れ合ったり学んだりする動物園にシフトしている。魅力ある動物園を運営していくためには、展示するだけの動物園から脱却していかなくてはならない。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	701003
分野	産業・観光
基本施策	観光・コンベンション等による交流の推進
推進施策	魅力ある動物園の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
北園リニューアル施設のオープンに伴い、天候に関係なく、いつでも小動物とのふれあい体験を実施したり、休日に、ばくばくタイムや飼育員の仕事体験(キッズキーパー)などの体験プログラム(一部有料)を実施し、動物園ならではの新たな魅力的なソフト事業を提供する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三崎 英和	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	812035	事務事業名	基金管理事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅶ 産業・観光	節(まちの姿)	Ⅶ2 観光でまちの魅力が高まる	実施計画	×
	基本施策	Ⅶ21 観光の振興	基本方向	徳山動物園を核に交流人口の拡大を図るとともに、市民や地域、関係団体等と一体となって地域の魅力を生かした交流を促進することにより「住んでよし、訪れてよしのまち周南」の実現を目指します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(5) 動物を身近に感じるソフト事業の展開			【 観光の振興 】	19.40%
	推進施策の展開	「ぞうさんの夢基金」への積立を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【 観光の振興 】	22.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 「ぞうさんの夢基金」の趣旨に賛同いただける市内の方		意図(どういう状態にしたい): 動物園運営に関して市民等からの財政的支援と、動物購入時における経費の平準化を図る。		事業の内容 (手段)	○事業のPRを含めて園内等に募金箱を設置し、募金を募り、「ぞうさんの夢基金」へ積み立てる。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	周南市ぞうさんの夢基金への積立(合計 520,464円)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	ふるさと周南応援寄付金「動物園魅力アップ」事業分(H27.1末寄付額全額) 482,941円 ふるさと周南応援基金繰入金「動物園魅力アップ」事業分(H26.2・3月收入分) 36,387円 基金利息分 1,136円						直接事業費	千円	0	2	2	2	2
事業目標	目標名	基金積立額	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	2,636	521		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	10,000.0	10,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0		(決算額) うち一財	千円	0	0			
	実績値	46,207.0	2,636.0	521.0				正職員人件費	千円	293	296			
	達成度(%)	462.1%	26.4%	26.1%				人工数	人	0.04	0.04			
								支出コスト	千円	決) 2,929	決見) 817			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	①	基金管理業務 (ソフト事業)	受入した浄財	動物導入に要する財源に充てるための資金を、「周南市ぞうさんの夢基金」に積み立てることを目的とする。		寄付については、「ふるさと周南応援寄付金」への納入手続き等、適切な事務処理を行い基金への積立てる。		ふるさと周南応援寄付金を「周南市ぞうさんの夢基金」へ積み立てた。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
										0.02	0	521	否	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価		A	改善案						
	②	基金受入業務 (ソフト事業)	募金の受入体制	動物園の動物導入に要する財源を受け入れることを目的とする。		動物園の動物導入に必要な財源確保への関心を高めるため、PR等を行い、財源確保を図る。		徳山商工会議所(青友会)が立ち上げた「ぞうさんプロジェクト」からの寄付等、市内内外の多くの方からの募金を受け入れた。園内にも募金箱を設置した。		0.02	0	0	否	否
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他		細事業評価		A	改善案	事業の意義等のPR、啓発活動に取り組む。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	特になし	指摘事項に対する改善状況	特になし
	平成24年2月に、サバンナゾウ「マリ」が死亡し、5月に徳山商工会議所青年部(青友会)が「ぞうさんプロジェクト」を立ち上げて、ゾウ導入に向けての募金活動を開始された。 市としては、ゾウ導入に向けて、平成24年度に「ぞうさんの夢基金条例」を制定し、今後の動物導入の財源確保を図る体制を確立した。平成25年度はゾウ導入により4,600千円の取り崩しを行った。平成26年度は取り崩しなし。				
	動物購入時における経費の平準化を図るため、多くの財源を確保することが必要。		事業全体の課題・問題点	ゾウが導入されたことにより寄附金が大きく減少したが、今後の動物購入のためには動物園を広くPRし、財源確保を図る必要がある。	

所管課評価					
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	この基金の目的はゾウに限らず、これから飼育を続けるために必要な動物を購入するものであり継続して管理していく必要がある。	改善案 特になし

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 動物園内の飼育動物は高齢化しており、その対応が望まれる。 魅力ある動物園として継続して運営していくためには、そうした動物の補充は欠かせない。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	701003
分野	産業・観光
基本施策	観光・コンベンション等による交流の推進
推進施策	魅力ある動物園の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特になし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三崎 英和	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	812039	事務事業名	動物園リニューアル事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII2 観光でまちの魅力が高まる	実施計画	○
	基本施策	VII21 観光の振興	基本方向	徳山動物園を核に交流人口の拡大を図るとともに、市民や地域、関係団体等と一体となって地域の魅力を生かした交流を促進することにより「住んでよし、訪れてよしのまち周南」の実現を目指します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(5) 動物を身近に感じるソフト事業の展開			【 観光の振興 】	19.40%
	推進施策の展開	開園から56年を迎え老朽化が進む徳山動物園を、全面的にリニューアルすることにより、交流人口の拡大を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【 観光の振興 】	22.00%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 動物園施設	意図(どういう状態にしたい): エデュケーショナルミュージアムの機能を持つ、Only Oneな動物園にしたい。	事業の内容 (手段)	リニューアルに係る補助金関係事務、入札手続き、工事監理・打合せ、中間及び完了検査等		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	国庫補助の内示を受け、動物園リニューアル第一工区のふれあい舎等の建築工事に着手した。								直接事業費	千円	285,164	269,556	209,387	843,532
事業目標	目標名	整備進捗率	計算式	執行割合	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	33,009	49,156	66,887	79,032	15,000
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	113,658	411,223		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	25.0	25.0	35.0	50.0		(決算額)	うち一財	千円	10,064	64,115		自然学習館及び野鳥観察所の整備	
	実績値	0.0	20.0				正職員人件費	千円	18,313	3,550				
	達成度(%)	0.0%	80.0%	0.0%			人工数	人	2.50	0.48	0.48			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	第1工区建築工事等 (施設等整備事業)	動物園施設	建築工事	建築工事	ふれあい舎等の建築工事の実施	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.06	0	405,623	否	否			
	細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 □ コスト □ その他 機能を最大限に確保しつつ、低コスト化に向けた調整が必要である。					B	改善案	手戻りのない最適な工事工程や工法を関係部署(建築課、公園花とみどり課、動物園)が連携して検討を進める。					
	②	第2工区基本設計策定業務 (経常的事務事業)	動物園施設	基本設計	基本設計	第2工区基本設計の実施	0.41	0	5,600	可	可			
細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 □ コスト □ その他 機能を最大限に確保しつつ、低コスト化に向けた調整が必要である。					B	改善案	手戻りのない最適な工事工程や工法を関係部署(建築課、公園花とみどり課、動物園)が連携して検討を進める。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	事業補助申請関係業務 (経常的事務事業)					動物園施設	整備事業財源の確保	円滑な公園整備事業の推進	計画名の変更	正職員	臨時等
							0.01	0	0	可	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成24年度の国庫配分なし 東日本大震災等の影響により、公園事業に対する国費の確保が厳しい状況にある。				B	改善案	国費の確実な歳入に向け、有利な事業手法への切替えを検討する。				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	動物園リニューアルFS調査・基本設計構想を作成し、それを踏まえた基本計画を策定した。この基本設計を基に建築実施設計を行った。平成24年度には工事に着工する予定であったが、財源が確保できなかったため中止していたが、平成25年度は国庫補助の内示を受け造成工事に着手し、平成26年度は第2工区の基本設計に着手した。			各公園整備計画の実現のためには、多大な資金と時間を要することが想定される。今後は、財源の確保も含め、優先的に整備する公園を絞り込み、整備効果の高い公園から事業を進めていく。
	コスト削減に向けた工法や最適な工事スケジュールを組み立てる必要がある。			事業費が大きく、長期的なプロジェクトであることから、継続かつ事業の進捗に沿った安定的な財源の確保が大きな課題である。

所管課評価

評価	理由	改善案
B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	多くの市民の方々が動物にも、人にも優しい動物園の構築を望まれている。その要望に応えることが必要である。 特になし。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	交流人口増加の最大の切り札は動物園のリニューアルである。施設的には小さいが、楽しいことがぎゅっと詰まっている動物園としてオンリーワンをめざし再構築していくことは非常に重要である。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	701003
分野	産業・観光
基本施策	観光・コンベンション等による交流の推進
推進施策	魅力ある動物園の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
動物園リニューアル計画にそって着実に実施していく。

備考

--